龍ヶ崎市が目指すコミュニティ・スクール導入の方向性について

龍ヶ崎市は令和2年から龍ヶ崎版小中一貫教育「龍の子人づくり学習」を実施しています。

「龍の子人づくり学習 ガイドブック」には、「小学校と中学校と地域社会が目指す子ども像を共有し義務教育9年間における人づくり学習に系統的に取り組む」とあり、中学校区で同様なグランドデザインを採用しております。また、これまでのモデル小・中学校の検証結果を鑑み、中学校区に導入することで2つの小学校区へ同時に情報共有ができることや、中学校区の取り組みに対して効率よく合意形成を図ることができるといったメリットからも、**中学校区に1つのコミュニティ・スクールを設置**する方向で進めていくことにします。

龍ヶ崎版小中一貫教育

基本方針：一人一人の夢や希望を育み、生きる力が身につく教育の推進
目指す子供像：『夢』をもち『生きる力』を自らはぐくむ龍の子

**小学校と中学校と地域社会が目指す子ども像を共有し
義務教育9年間における人づくり学習に系統的に取り組んでいきます。**

小中一貫教育は4・3・2制のイメージ

- ・小学校から中学校へのスムーズな接続が可能になる。
- ・義務教育9年間を大きなまとまりとして、小中学校の教職員が責任をもって関わる。
- ・系統的・連続的を確保してなめらかな成長曲線を描ける。

小中のギャップの解消

「龍の子人づくり学習 ガイドブック」より

<導入スケジュール>

年度	設置学校	中学校区の小学校
令和6年度	馴柴小	馴柴小
令和7年度	中根台中	馴馬台小・久保台小
令和8年度	龍ヶ崎中	龍ヶ崎小・龍ヶ崎西小
令和9年度	城ノ内中・城西中	城ノ内小・八原小・川原代小
令和10年度	北竜台学園	(長山小・松葉小)

○毎年中学校区1校ずつ導入予定。

※モデル校の馴柴小学校は、令和9年度に川原代地区から学校運営協議会委員を募り、城西中学校区に再編。

○各校の学校運営協議会（年3回）に、社会教育主事が毎回参加をして伴走支援予定

<龍ヶ崎市の学校運営協議会委員：15人以内>

○学校運営の責任者は校長であるが、委員はその一翼を担っている。

例) PTA関係者、公民館長、民生委員、学校評議員、まちづくり協議会代表 などから選出